

らいごう
来迎 たいせつな人との別れのために
2022年4月9日(土)～5月22日(日)



「死後、人はどこに行くのだろうか？」

人間誰しもが抱く根源的な問いです。それに出された仏教的な答えの一つが、**阿弥陀如来の**
居ます極楽浄土に生まれかわる、というものでした。遥か西方のきらびやかな極楽世界に
生まれる自分、あるいはたいせつな人を思い描くことは、死という恐怖に向き合う人々に晴
れやかな希望を与えたことでしょう。こうした心情の中でつくり出された、中世の「来迎図」
と「浄土図」を本展では紹介し、中世の人々が願った**「死後の幸福」**のかたちを眺めてみたい
と思います。

- ◆ **来迎図とは？** 死にゆく人のもとへ、阿弥陀如来が多くの菩薩をつれてにぎやかに迎えに来る様子を描いた絵画。
- ◆ **浄土図とは？** 死後に向かう浄土のありさまを描いた絵画。本展では阿弥陀のおさめる極楽浄土図を紹介。

香雪美術館は村山龍平（朝日新聞社創業者）が収集した美術作品を核に活動していますが、
そのコレクションの中にも浄土信仰の美術が多数含まれています。本展では、関連の深い文
化財の数々を織り交ぜつつ、当館コレクションの来迎図や浄土図を一堂に公開します。近年
修理を終えたばかりの「**帰来迎図**」や「**阿弥陀三尊像**」は、一新した姿をご覧ください機会
となります。

第1章 源信の来迎図



① 阿弥陀聖衆来迎図(南北朝時代 14世紀)
香雪美術館



② 重要文化財
阿弥陀聖衆来迎図(鎌倉時代 13世紀)
奈良 興福院 展示期間:前期

永承7年(1052)、世の中は^{まっほう}末法の時代に入ったとされます。仏の教えだけが残され、その教えを実践する人も悟りを開く人もいない末法の世です。人々は仏がつくりあげた理想の世界「浄土」に生まれかわることを願い、浄土信仰が隆盛します。そんな中、天台宗の学僧・恵心僧都^{そうず げんしん}源信(942~1017)は極楽浄土へ往生するための指南書『往生要集』^{おうじょう ようしゅう}を執筆しました。ここに挙げている2点は、源信が自ら描いたという阿弥陀来迎図を、後世に写し描いたものです。

第2章 円陣来迎の系譜

「^{えんじん}円陣来迎」と呼ばれる来迎図があります。阿弥陀如来のまわりを菩薩が取り囲むようにして来迎する様子から付けられた通称です。香雪美術館が所蔵する円陣来迎図は、永享2年(1430)頃に当時、浄土宗を牽引していた京都・清浄華院^{しょうじょうけいん}で開眼供養^{かいげん}されました。仏教美術ではたびたび「写し」がつくられますが、写される仏像や仏画は、^{れいげん}霊験あらたかな尊像で、確かな由緒を持ちます。来迎図にも歳月を超えて写し継がれてきた図様があり、円陣来迎もその一つです。この来迎図の系譜をたどります。



③ 土佐行広 筆
阿弥陀二十五菩薩来迎図
(室町時代 永享2年頃)
香雪美術館



④ 阿弥陀二十五菩薩来迎図
(鎌倉時代 13~14世紀)
京都 三千院
展示期間: 前期

第3章 観音と地蔵の来迎



⑤ 重要文化財 稚児観音縁起絵巻(部分)(鎌倉~南北朝時代 14世紀) 香雪美術館



⑥ 矢田地蔵縁起絵巻(室町時代 15世紀) 香雪美術館

観音と地蔵も、阿弥陀の来迎のように飛来する姿を見せるみほとけです。阿弥陀来迎図の中でも重要な一員で、往生者^{おうじょうしゃ}を迎え、極楽浄土への転生という、来世への橋渡し役をしていました。ただし、その本質はこの世での人々の救済にあり、様々に姿を変え苦しむ人々に手を差し伸べるべま^{べま}す。地蔵は、死後に地獄に堕ちてしまった人のもとへも来迎すると信じられました。ここでは、奈良・興福寺^{こうふくじ}の稚児観音像と、奈良・矢田寺^{やたでら}（金剛山寺）の地蔵菩薩像、この二つの縁起絵巻に来迎のイメージをのぞいてみます。

第4章 浄土を想う



⑦ 重要文化財
智光曼荼羅
(鎌倉時代 14世紀)
文化庁
展示期間:前期



⑧ 阿弥陀三尊像
(中国 南宋～元時代
13世紀)
香雪美術館

初公開!!

阿弥陀如来に導かれ、亡くなった人たちは阿弥陀のおさめる西方極楽浄土に生まれかわるといいます。極楽は、煌びやか^{きら}かつ清らかで、衣食にも困らない苦しみ^{くるしみ}のない世界です。極楽に往生した人はここで阿弥陀の説く教えを聞きます。一方、欲も憎しみも怒りもなく、一途に信じつづければ極楽に往ける、ということをヴィジュアルに描いたのが二河白道図^{にがびやくどうず}です。信心の象徴「白道」の先には華麗な浄土が広がります。



9 阿弥陀三尊像
(鎌倉時代 14世紀)
香雪美術館



10 重要文化財
二河白道図
(鎌倉時代 13世紀)
香雪美術館

第5章 それぞれの来迎の夢

来迎図のバラエティーは実に豊かです。阿弥陀如来だけの来迎から、観音菩薩と勢至菩薩せいしを加えた阿弥陀三尊の来迎、二十五人の菩薩を引き連れての来迎、もっと多くの菩薩や人物が登場するものまでさまざまです。大画面のスケール感が迫真性を生む作品もあれば、小さな画面に凝縮された濃密な空気感に魅せられる作品もあります。いずれの来迎図も、誰かが自分のために、あるいはたいせつな誰かのために作り、その多くは、誰かがあの世へと旅立つ時に、開き懸けられました。それぞれの夢みる来迎のかたちが、そこには映し出されています。



11 阿弥陀二十五菩薩来迎図(鎌倉時代 13~14世紀) 香雪美術館



12 二十五菩薩来迎図(鎌倉時代 13世紀) 福井県立美術館
展示期間: 4月26日～5月22日



13 張思恭 筆 阿弥陀三尊像
(中国 南宋時代 13世紀) 京都 禅林寺
展示期間: 後期

第6章 たいせつな人との別れのために



14 滋賀県指定
阿弥陀三尊来迎図
(鎌倉時代 13世紀)
滋賀 光明寺
展示期間: 前期

修理後
初公開!!



15 重要美術品
帰来迎図(南北朝時代 14世紀)
香雪美術館
※三菱財団の2019年度文化財修復事業助成金
をうけて修理を実施しました。

来迎図は、極楽往生を願う人と、その人がたいせつに思う誰か、その人をたいせつに思う誰かのためにあります。生前から死後まで繰り返し使われました。生前には、日常的に礼拝する対象として、臨終の時には、来迎の夢を見る助けとして、死後には、死者を想う供養の中で、開き懸けられました。来迎図の中には往生者を描き込んだ作品があります。これらは、具体的な誰かに訪れた来迎の様子を描いたもので、たいせつな誰かの死後の幸福を約束するものでした。残された人々の心の痛みをやわらげる、やさしい絵画に他なりません。

作品画像貸出一覧

- ① 阿弥陀聖衆来迎図 (南北朝時代 14世紀) 香雪美術館
- ② 重要文化財 阿弥陀聖衆来迎図 (鎌倉時代 13世紀) 奈良 興福院 展示期間:前期
- ③ 土佐行広筆 阿弥陀二十五菩薩来迎図 (室町時代 永享2年頃) 香雪美術館
- ④ 阿弥陀二十五菩薩来迎図 (鎌倉時代 13~14世紀) 京都 三千院 展示期間:前期
- ⑤ 重要文化財 稚児観音縁起絵巻 (鎌倉~南北朝時代 14世紀) 香雪美術館
- ⑥ 矢田地蔵縁起絵巻 (室町時代 15世紀) 香雪美術館
- ⑦ 重要文化財 智光曼荼羅 (鎌倉時代 14世紀) 文化庁 展示期間:前期 画像提供:奈良国立博物館
- ⑧ 阿弥陀三尊像 (中国 南宋~元時代 13世紀) 香雪美術館
- ⑨ 阿弥陀三尊像 (鎌倉時代 14世紀) 香雪美術館
- ⑩ 重要文化財 二河白道図 (鎌倉時代 13世紀) 香雪美術館
- ⑪ 阿弥陀二十五菩薩来迎図 (鎌倉時代 13~14世紀) 香雪美術館
- ⑫ 二十五菩薩来迎図 (鎌倉時代 13世紀) 福井県立美術館 展示期間:4月26日~5月22日
- ⑬ 張思恭筆 阿弥陀三尊像 (中国 南宋時代 13世紀) 京都 禅林寺 展示期間:後期
- ⑭ 滋賀県指定 阿弥陀三尊来迎図 (鎌倉時代 13世紀) 滋賀 光明寺 展示期間:前期
- ⑮ 重要美術品 帰来迎図 (南北朝時代 14世紀) 香雪美術館

開催概要

会 期	2022年 4月9日(土) ~ 5月22日(日) ※前期:4/9(土)~5/1(日) 後期:5/3(火)~5/22(日)
休 館 日	月曜日
開館時間	午前 10 時~午後 5 時 (入館は午後 4 時 30分まで)
料 金	一般 1,000 (800) 円、高大生 600 (400) 円、小中生 300 (100) 円 ◎ () 内は前売り(一般のみ)、20名以上の団体料金 ◎ 前売り券は 4月8日まで中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンターで販売しています。

主 催	公益財団法人 香雪美術館、朝日新聞社	後 援	京都新聞
-----	--------------------	-----	------



会 場	中之島香雪美術館 530-0005 大阪府大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 TEL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 https://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/ Twitter@kosetsu_museum
-----	---

夜間特別開館	2022年 4月28日(木)、5月12日(木) ~19時30分 (入館は19時まで)
--------	--

FAX: 06-6210-4190

取材・写真使用申込書

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

(西暦) 年 月 日

取材について

取 材 者	フリガナ	フリガナ
	会社名	担当者名(連絡者)
	住所 〒	TEL
		FAX
	E-mail	取材人数 名
取材希望日時	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
媒 体	種別 ☐ テレビ ☐ ラジオ ☐ 新聞 ☐ 雑誌 ☐ その他()	
	番組名・コーナー名	
放送・発行日等	(西暦) 年 月 日 時 分 ~ 時 分	
取 材 の 範 囲	撮影 ☐ す る (撮影機材 ☐ スチール ☐ ENG ☐ DVC) ☐ しない	
備 考 特に取材したい場所・内容等		

写真使用について

プレス用写真一覧をご確認の上、希望画像番号をご明記ください。

作 品 画 像	中之島香雪美術館 館 内 画 像
---------	---------------------

注 意 事 項	- 企画書など概要がわかる書類の提出をお願いいたします。 - 原稿および記事については貴メディアへ御掲載前に中之島香雪美術館広報担当宛に確認のためお送りくださいますようお願いいたします。 - 掲載後は掲載誌等の送付をお願いしております。 - 画像の名称(作品名)、指定、展示期間、所蔵元、クレジット(ある場合)を記載してください - サイズは、(web掲載用)長辺 1000px 100dpi (紙媒体用)長辺 1000px 300dpi まで - ウェブ掲載の場合、掲載期間を最長6ヶ月とし、その後は削除をお願いします。それ以上の期間掲載をご希望の方は、再度ご連絡ください。
---------	--

―― 報道関係のお問い合わせ ――

「中之島香雪美術館」 広報担当
EL 06-6210-3766 FAX 06-6210-4190 Email n-kouhou@kosetsu-museum.or.jp
〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト 4階